

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2191600036		
法人名	(株)アイランドジー・アイ		
事業所名	アイランドジーアイ小田グループホーム		
所在地	岐阜県瑞浪市北小田町285		
自己評価作成日	令和6年1月10日	評価結果市町村受理日	令和6年4月16日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

外出レクにも少しずつつちからをいれるようになってきた。しかし職員不足やコロナの影響もあり施設内でのレクリエーション中心に取り組んできた。季節を感じられるような行事ごとや風習など年中行事として盛り込み行っている。また筋力トレーニングや体操も取り入れ利用者に合わせて行っている。掃除や食器拭き、配膳、洗濯物たたみなどできるところは一緒にしている

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kai.gokensaku.nhl.w.go.jp/21/index.php?act=on_kouhyou_detail_022_kani=true&i_gyosyoCd=2191600036-00&SerVieCd=320&Type=search
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 旅人とたいようの会
所在地	岐阜県大垣市橋町1丁目3番地
訪問調査日	令和6年3月18日

職員は、利用者がベット上の生活にならないよう得意なことや出来る力を活かして、一人ひとりに合わせた支援に取り組んでいる。利用者には家事に役割があり、活躍する場を作っている。散歩や体操を日課とし筋力低下防止に努め、忙しくても利用者と会話する時間を持つようにしている。地域の人が避難訓練に参加したり、散歩中に出会った保育園児や保護者と撮った写真を届けお礼状を頂いたり、地域行事に参加するなど地域との交流が復活しつつある。人手不足で外出支援が出来ない時、家族が認知症カフェなどに他の利用者も連れていってくれるなど信頼関係を築いている。家族同士で意見交換や要望など言える家族のグループラインの環境を作っている。職員と家族が協力して利用者を支え、利用者・家族・職員が笑顔で楽しく過ごせる家庭らしいグループホームを目指している事業所である。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~42で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
43	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:15)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	50	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:8,9)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
44	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:14,27)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	51	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
45	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:27)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	52	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:3)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
46	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:25,26)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	53	職員は、生き活きと働けている (参考項目:10,11)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
47	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:36)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	54	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
48	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:20)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	55	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない
49	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:18)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域社会との交流が保たれることを目的として積極的に地域に出かけるよう目標設定しているが、昨年はコロナ禍もあり思うような成果は得られなかった	コロナ禍を体験して「歩くこと」「人と会話すること」の重要性を実感し、利用者の心身の機能が低下しないよう一人ひとりに合わせた支援と笑顔で楽しく過ごせる家庭的な事業所を目指している。散歩や外出機会を多く作って地域とも交流出来るよう取り組んでいる。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の祭りや花火、正月の初もうでなど参加しているが、日常的な交流はできていない	自治会や職員から情報を得て地域の花火や祭りなどに出かけている。獅子舞が2階事業所の入口まで来てくれた。野菜の差し入れがあったり、散歩中に保育園児やお迎えの保護者と一緒に写真を撮ったりと日常的な交流が始まっている。	
3	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	本年度は運営推進会議をおこなうことができていない	本年度前半は書面による会議、後半は対面で行った。書面会議は事業所の現状や事故報告を行っているが、各委員からの意見はない。対面会議は事業所内の一部職員のみで行い、地域や行政に会議の開催の案内を出していない。	各委員全員が集まった会議を開催し、幅広い人との意見交換を行い、そこで得た意見などをサービス向上に活かすことを望む。
4	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	空き情報の提供や事故報告書の提出などおこなっている	電話やファックス、訪問するなどして些細な事まで報告したり、相談したりしている。今回、管理者交代時の挨拶に行った時も温かく声をかけて紹介して下さり、安心することが出来た。市主催の会議や研修会に参加して情報交換をしている。	
5	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束について勉強会を行ったりしている	身体拘束適正化委員会や研修会を定期的に行い、拘束になる具体的な言葉や行為など事例を挙げて話し合っている。適切でない行為が見られた時は、その場で注意し、職員同士も互いに注意し合っている。指針や委員会・研修の記録の確認が出来なかった。	指針及び議事録・研修記録を整備して残し職員間で共有して取り組む仕組みが望まれる。
6	(6)	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待が存在しないよう常に意識している。また勉強会や研修などおこなっている	研修会は年2回行っている。疑いがあった時はビデオを見て、こんな時はどうするかなど個々の意見を聞いて具体的に話し合い、共通認識をもって虐待防止に努めている。	

アイランドジー・アイ小田グループホーム

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	必要な利用者や家族に成年後見制度の紹介が可能な程度の知識は持っているし、必要時には支援できる		
8		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	しっかりと行えている。またいつでも相談質問など対応している		
9	(7)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びにに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱相談窓口が設置してある。またいつでも相談質問など対応している	訪問時や電話をしたり、毎月送る写真付きの便りに一言添えたりして家族の意見を聞いている。ラインを導入して家族間でも意見を言い合える環境がある。リハパンツから布パンツに代えて欲しいとの要望があったり、家族が外出を手伝ってくれたりと良好な関係を築いている。	
10	(8)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月3回GH会議があり、リーダー会議勉強会などがある	管理者は言いやすい雰囲気を作り、職員は何でも気軽に言えると感じている。要望や提案など直接聞いたり、ラインで送られたり、管理者が休みの時はメモが置いてある。備品の購入などは速やかに対応し、介護方針の提案や変更には、その場で解決したり、会議で話し合ったりし対応している。	
11	(9)	○就業環境の整備 代表者は、管理者及び職員個々の努力や実績、勤務状況を把握するとともに、職員が向上心を持って働けるよう、ワーク・ライフ・バランスに配慮した職場環境や就業条件の整備に努めている	実施できている	管理者は、職員の個々の状況や家庭事情を考慮して休暇の希望も入れながらシフトを組んでいる。人間関係が良く不満の少ない働きやすい環境の職場作りに努めている。	
12	(10)	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	全体会議、リーダー会議の場で研修をおこなっている。外部の研修は都度案内している	外部研修はズームでの参加が多いが、費用は会社負担で勤務扱いとしている。研修の年間計画表を提示して職員が希望する研修を受けられるようにしている。パート社員の区別なく資格取得の研修も受けられるようにしている。	

アイランドジー・アイ小田グループホーム

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会づくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	交流はない		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
14		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員一人一人が家族のような関係を築き上げている		
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
15	(11)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員の自己満足とならないよう、ご家族やご友人の方から聞き取り実践している	家族や友人から生活歴の情報を聞いたり、日々のいろいろな場面で聞いたりして希望や意向の把握に努めている。みんなと一緒に行動したくない時は、本人の意思を尊重して、思いのままに過ごしてもらっている。	
16	(12)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日々努めている	本人や家族の意見や要望を聞き、毎月のカンファレンスでの話し合いや介護記録を基にアセスメントとモニタリングを行って介護計画を作成している。医師の意見を取り入れたり、状態に変化があれば見直し現状に即した介護計画を作成している。	
17	(13)	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々努めている	個別の記録には、日々の様子や職員の気づきを記入している。実践したケアの記録は、プランに基づいて時系列に記入するよう工夫している。個別記録をモニタリングや介護計画の見直しに活用している。	
18	(14)	○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	可能な限り対応している	家族の都合で受診の付き添いが出来ない時は、職員が同行して結果報告をしている。要望があれば買い物の代行もしている。家の様子を気にする利用者と草が伸びていないかなど家の周りを見に行くこともある。	

アイランドジー・アイ小田グループホーム

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	可能な限り対応している		
20	(15)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族の希望に沿っている	内科は、本人・家族の希望で協力医に変更して訪問診療を受けている。他科の受診は家族が付き添い、利用者の状態をメモや電話で伝えて、結果報告を受けている。職員が同行することもある。緊急時は、訪問看護師に相談して家族と連絡を取り、職員が対応している。	
21	(16)	○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	可能な限り対応している	入院時は情報を書類で提供している。病院の相談員と電話で連絡を取り合っている。退院時はカンファレンスに参加して、状態などを考慮して事業所での生活が可能かなど話し合い、必要に応じて他の施設の情報提供も行い病院関係者と協力しながら取り組んでいる。	
22	(17)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に伝えているし、家族が困らないようサポートしている	入居時に事業所の方針を説明している。利用者の状態に応じて家族と話し合い、意向を確認している。看取りをする場合は、医師から説明してもらい同意書をもっている。家族の宿泊も受け入れ最期を一緒に過ごせるよう支援している。	
23		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期訓練を行っている		
24	(18)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期訓練を行っている	年2回夜間想定を含めた避難訓練を行っている。水・食糧・日用品など日持ちするものは1～3か月分の備蓄をしている。訓練には近隣の人も参加し、感想を聞くなどして地域との協力関係を築いている。	

アイランドジー・アイ小田グループホーム

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
25	(19)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	重要事項として認識し、対応している	トイレ誘導の時は、トイレと言わないようにするなど利用者の気持ちを大切に、誇りやプライバシーを傷つけないような声かけや対応に心がけている。異性を介助する時は「私で大丈夫ですか」と声かけして羞恥心などに気配りをしている。	
26		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	可能な限り対応している		
27		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ある程度の日課は決めてあるが、そのなかでもご本人のペースを大事にしている		
28	(20)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	可能な限り対応している	朝夕食は外注、昼食は併設デイサービスの厨房で作ってもらい、利用者の好みや希望・行事食など注文をしている。利用者は、取ってきたつくしやわらびを料理したり、栗きんとんやデザートのおやつ作りをしたり、盛り付けや食器拭きなど出来ることを手伝っている。	
29		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	日々努めている		
30	(21)	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	日々努めている	訪問歯科診療を受け、歯科医や歯科衛生士の指導のもと利用者の口腔内の状態に合わせ毎食後の口腔ケアを支援している。一人で行う人にも見守り確認をしている。夕食後に義歯の洗浄、消毒を行っている。	

アイランドジー・アイ小田グループホーム

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	日々努めている		
32		○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	日々努めている		
33		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日々努めている		
34	(22)	○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	日々努めている	前日にダブルチェックをして配薬している。服薬前に名前と日付を声に出して確認している。服用後は、薬が残っていないか口腔内の確認をしている。医師より薬の変更を伝えられた時は様子を見て報告している。	
35	(23)	○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日々努めている	利用者は洗濯物干しや洗濯物たたみ・掃除など積極的に参加している。筋力トレーニングや体操などレクリエーションを工夫して楽しく気分転換も出来るよう支援している。好きな野球選手が登場するテレビはすべて見たいとの要望に、出来る限り応じている。	
36	(24)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	可能な限り対応している	散歩を日課にしている。初詣や花見・鯉のぼり・紅葉を見に行ったりしている。地域の七夕の花火や祭りにも出かけている。家族と一緒に買い物や喫茶店、自宅に帰り外泊をする利用者もある。	

アイランドジー・アイ小田グループホーム

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	理解はしているが今は対応していない		
38		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	可能な限り対応している		
39	(25)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	可能な限り対応している	室温・湿度に気を付けて換気や消毒をこまめに行い快適に過ごせるよう努めている。季節ごとの手作りのタペストリーや花を飾り、雑壇を置いている。ベランダに洗濯物を干し、季節感や生活感を採り入れて家庭的な雰囲気の中で過ごせるようにしている。	
40		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	可能な限り対応している		
41		○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	可能な限り対応している		
42		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	可能な限り対応している		